

一般会計の市債現在高

(単位:千円)

令和3年度末時点現在高	47,778,815	市民一人当たりの借金	380
令和4年9月末時点現在高	45,397,319	市民一人当たりの借金	361

※令和3年度末人口 125,570人

市債とは・・・

主に市が公共施設の整備などの建設事業を行うために必要なお金を国や金融機関から調達する借入金(借金)のことを言います。

なぜ市債が必要なのか・・・

道路や学校などの公共施設は整備後、長い間使用します。整備の費用を市税などの収入だけでまかなうと、費用を負担するのはその年度の市民だけになり、不公平になってしまいます。

そこで、借入金である市債を発行し、公共施設を使う次の世代には「借入金の返済」という形で費用を負担してもらうことで、負担を公平に分かち合うことができます。



基金の現在高

(単位:千円)

令和3年度末現在高	19,379,756
令和4年9月末現在高	18,190,948

主な財政用語のコーナー

歳出 (使われるお金)

総務費

市の総合的な事務事業、交通安全、防犯対策等に要するお金

民生費

児童、高齢者、障がい者などの福祉及び子育て支援に要するお金

土木費

道路建設や公園の整備、市営住宅の管理などに要するお金

教育費

小中学校をはじめ社会教育や文化振興などの教育全般に要するお金

公債費

市債の元金・利子の返済に要するお金

その他

消防、商工業振興、議会、ごみ処理などに要するお金

歳入 (入ってくるお金)

- 市税…市民税や固定資産税など市民や法人が納めた税金
- 地方交付税…所得税など国が徴収した税金の中から、地方公共団体の財政状況に応じて交付されるお金
- 国・県支出金…公共事業などの特定の目的の財源として、国や県から交付されるお金
- 市債…道路、公園、学校などの公共施設整備のために、市が借り入れるお金

【お問合せ】 財務部 財務政策課 ☎973-6753

令和4年度 (上半期)

うるま市の財政状況

令和4年度上半期(令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)の財政状況をお知らせします。

市民のみなさまが納めた税金や、国から交付される地方交付税、国や県からの補助金など、市の収入がどのような行政サービスやまちづくりに使われているのか、半期ごとに財政状況を公表しています。

今回は、令和4年度うるま市の各会計における令和4年9月30日現在(上半期)の歳入歳出予算の執行状況を中心にお知らせします。

市の人口及び面積

人口	125,876人
世帯数	55,929世帯
面積	87.02 km ²

※人口及び世帯数は9月末現在、面積は令和4年7月1日現在

一般会計の執行状況

令和4年度一般会計予算額は、当初予算667億7,621万円でしたが、令和4年度上半期中に4回の補正予算(補正予算総額64億3,985万円)と令和3年度繰越分(繰越総額43億4,383万円)を追加し、予算額775億5,989万円となっています。

この予算に対して、収入済額は306億4,282万円で収入率39.5%、支出済額は303億6,917万円で執行率は39.2%となっています。

(単位:千円)



歳入

歳出

特別会計の執行状況

(単位:千円、%)

会計名	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	16,218,436	7,918,216	48.8%	6,990,196	43.1%
介護保険	11,737,297	6,108,161	52.0%	4,316,244	36.8%
農業集落排水事業	26,712	10,163	38.0%	3,048	11.4%
後期高齢者医療	1,146,211	648,012	56.5%	415,681	36.3%
合計	29,128,656	14,684,552	50.4%	11,725,169	40.3%